観光のお問い合せ

一般社団法人 宮島観光協会

〒739-0505 広島県廿日市市宮島町1162-18
TEL(0829)44-2011／FAX(0829)44-0066
URL　https://www.miyajima.or.jp/
Eメール　info@miyajima.or.jp

廿日市市環境産業部観光課

〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11-1
TEL(0829)30-9141／FAX(0829)31-0999
URL　https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/kanko/
Eメール　kanko@city.hatsukaichi.hiroshima.jp

広島県東京事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目2-8 虎ノ門琴平タワー22階
TEL(03)3580-0851／FAX(03)5511-8803

広島県大阪情報センター

〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目3-1-800 大阪駅前第一ビル8階
TEL(06)6345-5821／FAX(06)6345-5831

観光客の皆様へお願い

宮島の鹿は野生動物です。
優しく見守りましょう。

◆いじめない、触らない。
鹿は人に馴れていますが、ペットではありません。近づいたり、体に触ったりすると、危険な行動をすることがあるので、注意してください。

◆食べ物を与えない。
鹿は草食動物です。人からの食べ物によってお腹を壊したり、病気の原因になりますので、食べ物を与えないでください。

◆ゴミを捨てない。
鹿がお菓子の袋や弁当のカラなどを食べてしまうと、消化されず病気になりますので、捨てないでください。

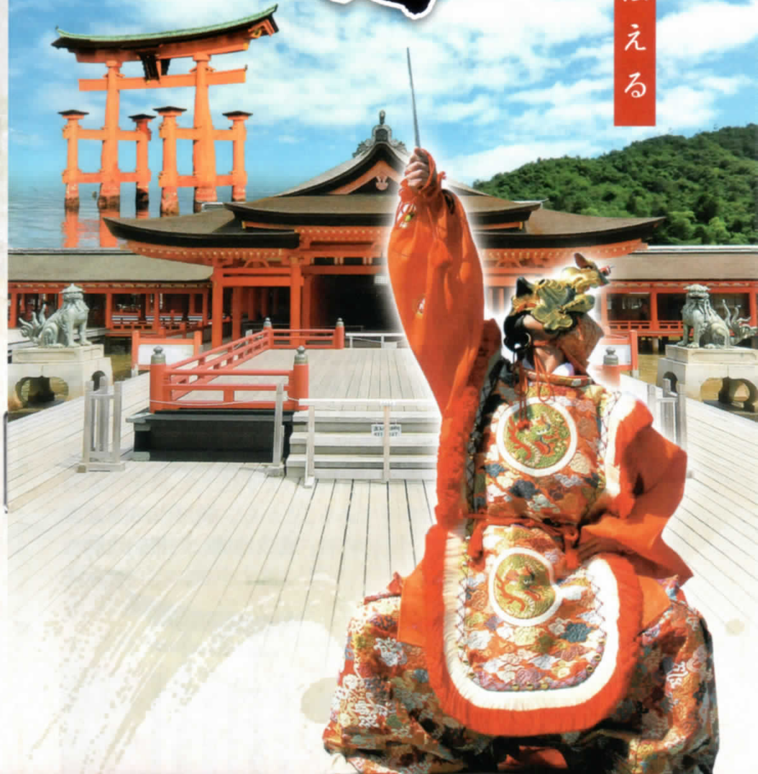
URL
https://www.miyajima.or.jp
Eメール
info@miyajima.or.jp

世界遺産 宮島 嚴島神社

日本三景 宮島

世界遺産

平安の雅を今に伝える
歴史と浪漫の島



令和3(2021)年 3月 発行

歴史、伝説、文化、自然。
まさに、神をいつきまつる島と呼ばれるにふさわしい宮島

時代を超え、今なお平安朝の優雅な建築美を誇る嚴島神社と弥山原始林の自然。この建築美と自然美の調和が、1996年12月、世界遺産に登録されました。

日本のかけがえのない文化遺産を世界へ、そして次世代へ伝えることが私たちの使命です。

昔から「神の島」として崇められてきた宮島は、美しい瀬戸内海に浮かぶ歴史と浪漫の島です。

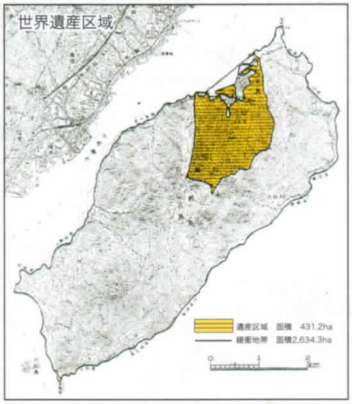
嚴島神社の雅やかな社殿や朱塗りの大鳥居が紺青の海と島の自然に見事に調和して平安朝の優雅さを醸しています。桜やもみじが美しい渓谷と古代からの姿が大切に保存されている弥山原始林、その変化に富んだ風光は古くから人々に愛され、松島、天橋立とならんで日本三景の一つになっています。「神が宿る島」として伝えられる宮島の歩みは、遠く昔をひもとけば、伊都岐島の神とともにあったと言えましょう。14 世紀末から 15 世紀初頭にかけて宮島には次第に町が形成されるようになりました。そして瀬戸内海の要港となり交易も盛んでしたが、やがて交通の発達に伴い、神社を中心とした観光地として脚光を浴びるようになってきたのです。また、島全体が日本における代表的な暖地標準林であることから、瀬戸内海国立公園の一角を占め、特別史跡・特別名勝、風致地区、天然記念物などの指定を受けています。その美しい自然のなかに保存された神話や伝説は、神秘的な景観と相まって、訪れる人々に脈々と受け継がれてきた歴史の重さを伝えています。

今日では、世界遺産にも登録され、美しく豊かな自然と嚴島神社など、数々の建造物や文化財を守り続ける努力が引き継がれています。宮島は瀬戸内海観光の中心的存在として世界へメッセージを発信しています。

世界遺産（文化遺産）

1972 年にユネスコで採択された世界遺産条約を日本は 1992 年に批准しました。この条約の目的は、世界に価値の高い文化遺産や自然遺産を人類共有の財産として認め、それらが破壊や滅失の危機にさらされているとき、各国が協力して保存のために力をつくすというものです。そして、その遺産が顕著な普遍的価値を有していると認められたときにはじめて、人類共有の財産として世界遺産に登録されます。

嚴島神社は平成 8 年(1996)12 月、その価値基準を満たし世界遺産に登録されました。登録された区域は、社殿を中心とする嚴島神社と、前面の海および背後にそびえる弥山原始林（天然記念物）を含む森林 431.2 ヘクタール。弥山の深緑を背景に、朱塗りの社殿群が海上に展開するという世界でも例をみない景観は、人々を魅了し、なお余りある美しさです。



登録された遺産のうち、嚴島神社の本社本殿・幣殿・拝殿など 17 棟、大鳥居・五重塔・多宝塔の 3 基からなる建造物群は、国宝に 6 棟、重要文化財に 11 棟・3 基が指定されています。

嚴島神社(国宝・重文) TEL.0829-44-2020

海中にそびえ立つ朱塗りの大鳥居とともに、御祭神-市杵島姫命・田心姫命・湍津姫命を祀っている嚴島神社。

スケールの雄大さ、寝殿造りの様式を採り入れた建築美、どこをとっても、国内有数の名社といわれるにふさわしい威厳と風格に満ちています。神社の創建は推古元年(593)佐伯鞍職によるものと伝えられ、その後の仁安3年(1168)平清盛によって現在のような社殿に造営されました。 海の中に建つ独創的な配置構成の麗姿は、時代を超え、今なお訪れる人々を古の宮廷文化へ誘います。

御本社を中心に、客神社、門客神社、大国神社、天神社などの各社が配置され、朝座屋、高舞台、楽房、能舞台などがその間に設けられています。また、内侍橋、長橋、反橋などの橋が架けられ、建造物は延長108間におよぶ廻廊でつながれ、見事に調和したものになっています。

鮮やかな朱塗り・檜皮葺の荘厳な屋根、清楚に配列された柱、ゆったりとした板敷床など平安時代にその極に達した寝殿造りの建築美を誇っています。戦国時代には、日本三大奇襲戦の一つとして有名な厳島合戦の凄絶な舞台となったことでも広く知られています。

■昇殿時間／
6:30～18:00
(季節によって変更あり)

天神社(国重文・室町時代)

祭神は菅原道真公。一名を連歌堂とも呼ばれ、明治の頃まで連歌の会が催されていた所です。棟札によると弘治2年(1556)卯月吉日の建築となっており、毛利隆元の寄進と伝えられています。

長橋(国重文・桃山時代)

長さ18間(約32m)、幅1間4尺(約3m)の橋。この橋を渡って神饌が運ばれていました。

能舞台(国重文)

現在の能舞台は延宝8年(1680)、浅野綱長によって造立されました。海中に建つ能舞台は他に例がなく、毎年4月に演じられる桃花祭御神能はユネスコの無形文化遺産になりました。

反橋(国重文・室町時代)

勅使橋ともいい、昔、勅使が参拝されるときに渡られたもので、その時は臨時に階段が取付られたと伝えられています。現在の橋は、毛利元就、隆元父子によって弘治3年(1557)に再建されたものです。

大鳥居(国重文)

嚴島神社の朱塗りの大鳥居は、宮島のシンボルです。満潮時には海中に浮かんだように見え、潮が引くと砂浜に立ち、とても雄大で優美です。現在の大鳥居は四脚造りで、平安時代から8代目にあたり、明治7年(1874)10月17日に建立にかかり、明治8年(1875)7月に完成したものです。主柱は宮崎県と香川県の楠が使われ、総高54.75尺(16.59m)、主柱の高さは36.1尺(10.94m)、主柱のまわり31尺(9.39m)、棟の長さ80尺(24.24m)、本社の拝殿より108間、火焼前より88間の海面に、鳥居自体の重みで立っています。大鳥居の額の文字は、有栖川宮熾仁親王の染筆で沖側「嚴嶋神社」、神社側「伊都岐島神社」、額の裏面に「明治7年甲戌四月二品熾仁親王謹書」と記されたものが掲げてあります。

ライトアップ

日暮れには大・小の灯籠に灯りがともり、大鳥居・嚴島神社・五重塔・多宝塔がライトアップされます。

(嚴島神社の夜間の昇殿はできません。)

五重塔(国重文)

和様と禅宗様(唐様)の粋をあつめ、2つの様式を巧みに融合させた三間五重塔は、応永14年(1407)創建と伝えられています。

初層の内部は完全な唐様で彩色も鮮やかに残っています。

高さ15間1尺(27.6m)にもおよぶ檜皮葺の五重塔は、中心柱が二層で止まっている独創的な構造です。

豊国神社(千畳閣・国重文)

豊臣秀吉が毎月一度千部経を転読供養するために天正15年(1587)発願し、安国寺恵瓊を奉行として着手させました。

以来10年余、慶長3年(1598)8月秀吉の死により、完成を見ないまま現在に至っています。桁行13間、背面15間、梁間8間、本瓦葺きの入母屋造りで、その広壮さから千畳閣と呼ばれるようになりました。

明治初年の神仏分離により、仏像を大願寺に移し、豊国大明神(豊臣秀吉)を祀るようになりました。中には、数々の絵馬が掲げられています。江戸時代には、奉納された絵馬は嚴島神社の回廊などに掛けられていましたが、明治時代からここに移されました。また、ここ塔之岡は厳島合戦時には、陶軍の本陣が設けられた所です。桜の時期には、建物と調和した見所の一つです。

宝物館(登録有形文化財) TEL.0829-44-2020(嚴島神社)

館内には平家一門がその繁栄を祈って奉納した平家納経(複製)をはじめとする嚴島神社所蔵の宝物など、美術工芸品の一部が展示されています。この建物は昭和9年(1934)に耐火性を考えて、鉄筋コンクリートで造られ、当時としては画期的なものでした。入口に掲げてある「嚴島寶物舘」の額は、従来の木造の建物にあったもので、明治38年(1905) 古社寺保存会会長や帝室博物館総長を勤めた九鬼隆一の筆になるものです。

大願寺 TEL.0829-44-0179

嚴島神社の修理、造営を明治維新まで司ってきたのが当寺院です。開基は不明ですが、建仁年間(1201～1203)の僧了海が中興の祖とされています。また、慶応2年(1866)9月、長州との戦いの時、幕臣勝海舟が長州藩士などとこの大願寺の書院で会談を行いました。

ここに祀られている弁財天は、日本三弁財天(他に江の島、竹生島)として有名で、毎年6月17日に弁財天大祭が行われています。

また、平成18年(2006)、護摩堂が140年ぶりに再建され、ご本尊は総白檀の不動明王です。

多宝塔(国重文)

創建は大永3年 (1523) 。僧周歓が手がけた高さ約15.6mの塔は純和風様式を基調としつつ、天竺様や唐様の手法を部分的に取り入れ、塔の下層の方形、上層は円形と形が異なるなど、構造に興味深い点が数多く見られます。弘治元年(1555) 厳島合戦の折り、この一帯が、陶軍の最初の本陣になったといわれています。

大聖院 TEL.0829-44-0111

緑深い弥山の麓にある真言宗御室派の大本山で、明治の神仏分離まで嚴島神社の別当職として祭を司ってきた宮島随一の名刹です。また、皇室との因縁も深く、明治天皇の行在所となっていました。本尊波切不動明王は戦勝と、海上安全を祈願した秀吉公の念持仏としても知られています。

摩尼殿

萬燈会

紅葉谷川庭園砂防施設

嚴島神社背後に流れる紅葉谷川に築かれた庭園砂防で、昭和20年の枕崎台風の災害復旧事業として昭和25年に竣工。土石流により堆積した巨石を巧みに利用しながら公園風景や歴史的風致との調和が図られ、長崎の西海橋と並び戦後土木施設として初の重要文化財指定された庭園砂防です。

紅葉谷公園

天然記念物に指定されている弥山原始林の麓に位置する紅葉谷公園は、その名のとおり紅葉の一大名所として有名。秋には燃えるような紅葉や楓、春から夏にかけては桜や新緑が鮮やかに彩ります。また、ここからは獅子岩までのロープウエーが通じています。ここから、博打尾を経て包ヶ浦に行く自然歩道があります。

大元神社(国重文)

海岸線から樅の古木が繁茂する珍しい大元公園にあり、本殿は三間社流造り。「屋根の杮葺が六枚重三段葺という葺方で、建造物としては、日本で唯一のもの」といわれています。この神社は地主神といわれ一般からの信仰の厚い社で、例祭は毎年1月20日、弓を射る「百手祭」が行われています。

宮島ロープウエー TEL.0829-44-0316

晴れた日には遠く四国までもが見える弥山山頂へは2種類のロープウエーを乗り継いで・・・
瀬戸のしまなみの眺望をのんびり楽しむ空中散歩は、また格別。

弥山

標高535メートルの霊山「弥山」は、806年に弘法大師・空海により開基されて以来、平清盛や伊藤博文などの信仰を集め、数多くの足跡や伝説を残しています。1200年以上霊火堂の中で燃え続ける「消えずの火」や、日本で唯一鬼の神様を祀る三鬼堂など、様々な見所が多くあります。「弥山原始林」は嚴島神社とともに世界遺産に指定され、原始的な植物を自然の状態で見ることができます。また、一年を通して登山が可能であり、時間や体力にあわせたコースを選び、自然観察、歴史探訪、ハイキングなどが楽しめます。多様な植物相をもつ自然の森の美しさ、巨岩奇石が点在する変化に富んだ景観、そして眼下に広がる瀬戸内海の多島美が訪れる人を魅了します。

霊火堂（消えずの火）

三鬼堂

路

山辺の古径

嚴島神社への東からの最古の参道であったといわれている古径。穏やかな瀬戸の海が見渡せ、野鳥のさえずりも聞こえてきます。女人坂では宝寿院（あせび寺）と石仏の女人像がある寿山亭、乳地蔵さまとの出合いが楽しめることでしょう。

町家通り

年間を通して観光客で賑わう表参道商店街から1本山の手に入ると、その景色は一変します。そこには人々の暮らしが息づく古い町並みの姿があります。

白壁やベンガラ格子、何百年もの歴史のある宮島商家の趣を残しながら、現代に調和させた古き良き時代の建築様式をそのまま残した建物など、レトロな雰囲気で情緒にあふれる通りです。

表参道商店街（清盛通り）

宮島が発祥である「もみじまんじゅう」のお店や、「宮島杓子・宮島彫り・ロクロ細工」などの工芸品を扱う物産店、宮島名物の「かき・あなご」料理を扱う御食事処など、約70軒ほどが立ち並ぶ商店街。別名「清盛通り」とも呼ばれ、多くの観光客でにぎわっています。

滝小路

嚴島神社の裏から大聖院へ向かう通りです。社家の屋敷や上卿屋敷があり、宮島民家の特徴を示す格子戸や鹿戸が今も見られ、落ち着いた宮島の風情が漂います。

大聖院のすぐ手前には安産や無病息災など、女性の守護神として名高い粟島神社があります。

上卿屋敷

馬酔木歩道

馬酔木が群生する遊歩道です。多宝塔から海を眺めると朱の大鳥居が姿を現します。耳を澄ませば、野鳥のさえずりが原始林に響き、自然の息吹きを感じさせます。春、いっせいに淡い桜が咲き、風薫る五月には新緑が美しく映え、四季を通じて散策が楽しめます。

紅葉谷の路

四季を通じて楽しめる自然散策コースのひとつ。新緑、紅葉と季節それぞれに趣があり、紅葉谷公園へ続きます。

宮島の文化や歴史に触れられる

宮島歴史民俗資料館

旧江上家（国登録有形文化財）

資料館入口

庭園からは多宝塔が見える

嚴島神社を中心とした宮島の歴史と文化について紹介する資料館です。宮島の年中行事や寺社仏閣の由来、島民の生活の様子、宮島にゆかりのある書物や書画など、約1,000点の実物資料・写真・映像を使って紹介しています。6つある展示館のうち、入口の保存民家は、江戸末期の豪商江上家の屋敷をそのまま利用しており、その座敷からは日本庭園が眺められます。宮島について学びつつ、日本らしい雰囲気をゆったりと味わえます。

〒739-0533
広島県廿日市市宮島町57番地
TEL／0829-44-2019
開館時間／9:00～17:00（入館は16:30）
休館日／月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、
12月26日～12月31日
URL／http://members.fch.ne.jp/miyajima-rekimin/

展示館D 平清盛コーナー

宮島工芸品の展示・杓子づくり、もみじ饅頭手焼き体験等が大好評

宮島伝統産業会館（みやじまん工房）

2F もみじ饅頭手焼き体験

宮島に伝わる伝統と歴史を学びながら体験できる観光施設です。

宮島杓子、宮島彫り、土鈴などの展示・販売や、もみじ饅頭の手焼き体験、杓子づくり体験、宮島彫り体験ができます。
※体験は有料で予約が必要。

〒739-0588 広島県廿日市市宮島町1165-9
TEL／0829-44-1758
開館時間／8:30～17:00
休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、
12月29日～1月3日

3F 杓子づくり体験

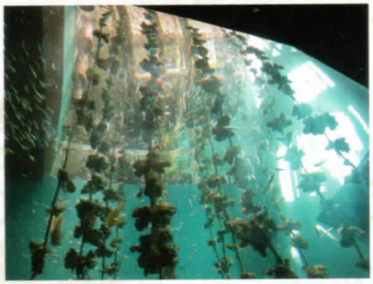
みやじマリン

宮島水族館

「瀬戸内海まるごと水族館」

宮島水族館のシンボル「スナメリ」

「いやし」と「ふれあい」を基本理念に、海の生きものをより身近に感じられる参加・体験型の水族館をめざしています。展示は瀬戸内海の生きものを中心に350種13,000点以上。本館では10のゾーンで瀬戸内海の神秘的な世界を紹介しています。



カキいかだの様子をまるごと展示

ペンギンが空を飛んでいる・・・？

また、海獣エリアではペンギンをはじめトドやアザラシ、コツメカワウソなど愛らしい動物が皆さんをお待ちしています。さらにライブプールでは毎日アシカライブを開催。

建物は、周辺景観との調和に配慮した、水族館ではめずらしい和風の造りになっており、格子戸のある玄関など、さながら高級旅館を思わせるたたずまいとなっています。 展示通路には、多くのベンチを設置していますので、ゆっくりと休みながら観覧することができます。ぜひ皆さんでお越しください。

外観は高級旅館を思わせるたたずまい

〒739-0534 広島県廿日市市宮島町10-3
TEL／0829-44-2010
FAX／0829-44-0693
開館時間／9:00～17:00（最終入館～16:00）
休館日／施設整備・点検のため臨時休館日あり
URL／https://miyajima-aqua.jp/

自然を楽しむネイチャーパーク

包ヶ浦自然公園

海水浴場

美しい自然のなかに楽しさと遊びがいっぱい。総面積15.6ヘクタールという雄大な広さと、充実したレジャー設備があります。

700メートルにおよぶ海岸線は美しいカーブを描き、波おだやかな海水浴場として人気があります。

キャンプ場

ケビン

主な施設は、
ケビン、運動広場、キャンプ場、バーベキューハウスなど。

問合せ先／包ヶ浦管理センター
〒739-0588
広島県廿日市市宮島町包ヶ浦
TEL／0829-44-2903
FAX／0829-44-0706
受付時間／8:30～17:00
URL／https://tsutsumigaura.com/

落ち着きのある和風の佇まい、安らぎの宿

国民宿舎みやじま杜の宿

閑静な大元公園の中にある「国民宿舎みやじま杜の宿」は、和風のお部屋を基本に30室。窓からの眺望は、なつかしい鎮守の杜の風情。日々の喧噪を忘れさせてくれる自然の趣にゆったりと浸っていただけます。旅の疲れをやさしく癒してくれる客乃湯（大浴場）、ふるさとの味覚が満喫できるお食事処・おおもと、200名様までの宴にも対応できる大宴会場、ビジネスに欠かせないOA設備も用意した会議室など、ご宿泊から、ご休憩、ご昼食、ご入浴、会議や研修まで幅広くご利用いただける格好の宿泊施設となっています。

施設/設備
- 客室／
  和室（10畳・8畳）24室
  洋室（ツイン）6室
- 宴会場（10名～200名様）
- お食事処「おおもと」／
  食事11:00～14:00/喫茶14:00～16:00
- 客乃湯（大浴場）／日帰入浴10:30～17:00
- 会議・研修室（OA設備も完備）
- ロビーその他の付帯施設
  （お土産処・自販機コーナー 他）

〒739-0588
広島県廿日市市宮島町大元公園内
TEL／0829-44-0430
FAX／0829-44-2248
URL／https://www.morinoyado.jp/

宮島みやげはこれできまり

宮島の特産

宮島の工芸品

宮島彫りは社景や動植物などを盆や杓子に彫り、ロクロ細工は木目の美しさを生かした仕上げにしていて、盆や茶道具が造られています。そのほかかわいらしい宮島土鈴や宮島張子などのお土産があります。

宮島張子

宮島彫り

宮島土鈴

宮島杓子

寛政年間（1789～1800）、光明院の修行僧・誓真によって考案され、島民に教えたのが宮島杓子の生産の始まりとして伝わっています。

あなご飯

大野瀬戸で穫れる「あなご」は風味もやわらかさも格別。宮島名物の「あなご飯」は、甘辛い香りが人々の食欲をそそり、今やその知名度は全国区になりました。

かき

宮島の沖合で養殖されている海のミルクと呼ばれる「かき」は宮島を代表する特産品のひとつです。「焼きがき」「かきフライ」などが人気のメニュー。冬の味覚として知られておりますが 今では年中美味しいかきが味わえます。

もみじ饅頭

宮島の「もみじ饅頭」は今や広島土産の定番として有名。最近ではこし餡、つぶ餡のほか、様々な味があり、若い人にも大好評です。

祭

太古より神の宿る島として崇められてきた宮島には、伝統ある祭事が脈々と伝えられ、人々の心に息づいています。

蘭陵王

舞楽

平安朝末期、平清盛によって大阪の四天王寺より伝えられて以来、今日まで大切に守り継がれている貴重な伝統芸能がこの舞楽。高舞台で古式ゆかしく舞われます。

舞楽鑑賞

1月 1日	歳旦祭（本社祓殿）	4月15日	桃花祭
1月 2日	二日祭	5月18日	推古天皇祭遙拝式
1月 3日	元始祭	旧6月 5日	市立祭
1月 5日	地久祭	10月15日	菊花祭
2月23日	天長祭	10月23日	三翁神社祭（三翁神社）

宮島かき祭り

瀬戸内海の海水と、弥山から湧き出る地下水が豊かな漁場をつくり、そこで育った新鮮な牡蠣は、宮島の特産品のひとつになっています。毎年2月に開催されるこの祭りは、宮島あげての一大年行事。かきの直売所も設けられ、観光客の皆さんに大人気のイベントです。

桃花祭御神能

永禄11年(1568)毛利元就が奉納した能に由来し、4月16日から3日間行われる桃花祭の行事です。国内で唯一海の中にある能舞台で、正式な五番能が行われます。

火渡り式(大聖院)
火渡り儀式(大願寺)

毎年4月15日と11月15日に大聖院で火渡り式、11月3日に大願寺で火渡り儀式が行われます。

柴灯大護摩経の修法が終わると、火伏せの秘法をもって加持し、先達を先頭に参拝者全員がそれぞれ願望成就を祈念して、素足で火の上を渡ります。

管絃祭

旧暦6月17日に行われる嚴島神社最大の祭典。平清盛が、都で行われていた「管絃の遊び」を宮島に移したのが始まりで、海上に平安朝絵巻が蘇ります。

宮島水中花火大会

大鳥居沖の海上で盛大に行われることで有名。真夏の夜空を鮮やかに彩ります。

玉取祭

8月中旬に行われる豪快な夏の神事。大鳥居前の海中で男たちがヤグラに吊された幸福の宝珠を争奪する勇壮な迫力満点の祭りです。

鎮火祭

12月31日の大晦日の午後6時頃より行われる神事で、昔の晦日山伏の行事から起こったものといわれています。威勢良い掛け声と共に大松明が練り歩く様はまさに壮観。松明の燃え残りは、来る年の火災除けのお守りとされます。

宮島観光絵図

●桟橋より主な観光地までの所要時間（徒歩）

嚴島神社	12分
大聖院	20分
大願寺	18分
宝物館	18分
豊国神社（千畳閣）・五重塔	10分
多宝塔	20分
紅葉谷公園	20分
藤の棚公園	20分
大元公園	25分
包ケ浦自然公園	40分
宮島ロープウエー	25分
宮島歴史民俗資料館	20分
宮島水族館（みやじマリン）	25分
清盛神社	20分

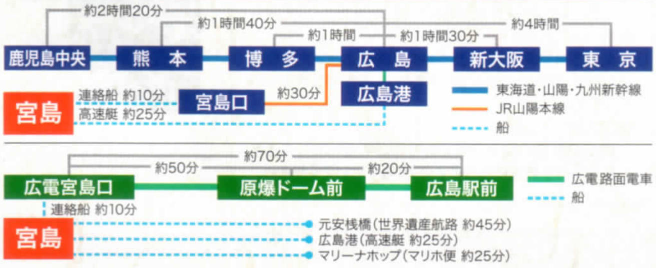
■宮島島内タクシー　TEL.0829-55-1110

■宮島メイプルライナー（乗合タクシー／包ヶ浦～水族館）

宮島の宿　https://www.miyajima-yado.com/

旅館名	TEL(0829)	旅館名	TEL(0829)
岩　惣	44-2233	ホテル菊乃家	40-2400
山一別館	44-0700	ホテル宮島別荘	44-1180
錦水館	44-2131	宮島グランドホテル 有もと	44-2411
蔵宿いろは	44-0168	宮島ゲストハウス三國屋	44-1641
厳島東門前 菊がわ	44-0039	宮島シーサイドホテル	44-0118
国民宿舎みやじま杜の宿	44-0430	宮島四季の宿 わたなべ	44-0234
さくらや	40-2805	宮島ホテル まこと	44-0070
聚景荘	44-0300	もみぢ荘	44-0077
神撰の宿 ホテルみや離宮	44-2111	旅彩のお宿 水羽荘	44-0173
水羽荘 別邸 葉もれび	30-7750	旅荘 かわぐち	44-0018
ホテルニュー 寿	44-2526		

高速道路

空路

新幹線・電車